

顎口腔領域の画像診断 ——TMJレベルのX線CT像——

丸山 清, 長内 剛, 筒井 稔

松本歯科大学 歯科放射線学講座 (主任 丸山 清 教授)

CTは一般に体軸に垂直な断面を観察するのが基本とされるが、ガントリー内で体位を変換することにより、様々な断面が描出される。

ここに供覧する図1(a)(b)は左側顎関節頭、同側上顎臼歯部及び反対側鼻根部を通る平面をスライス厚2mmで撮影したCT像及びそのトレース像である。

図2(a)(b)は、これと対比するためセクタグラフで撮影した同部位の断層X線像及びトレース像、図3はこの断層方向が、頭部矢状面をフィルムカセットに対し45°側方へ振り、頭軸をフィルム側へ30°傾斜させたものであることを示し、図4は同方向の単純X線像である。

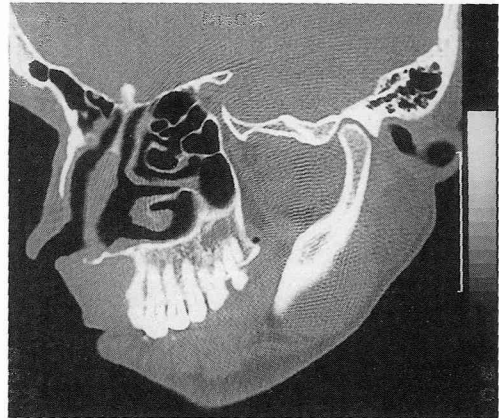


図1(a)：顎関節・上顎臼歯部及び反対側鼻根部を通る平面のCT像

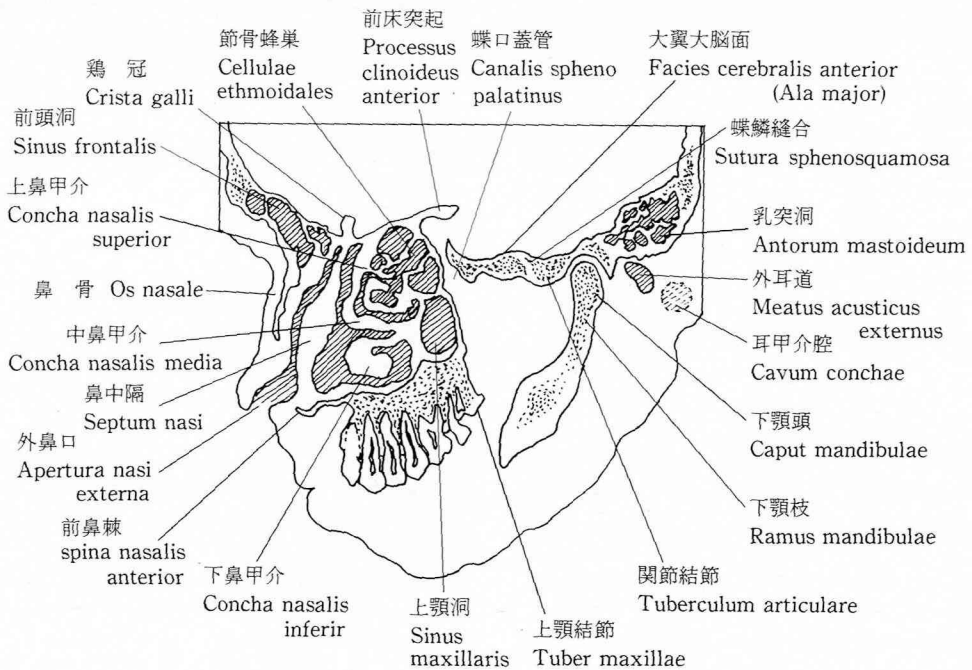


図1(b)：図1(a)のトレース及びX線解剖

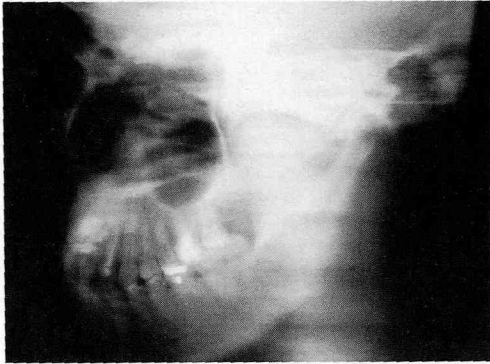


図2(a) : Sectograph による図1(a)と同方向の断層像 (25才, ♂)

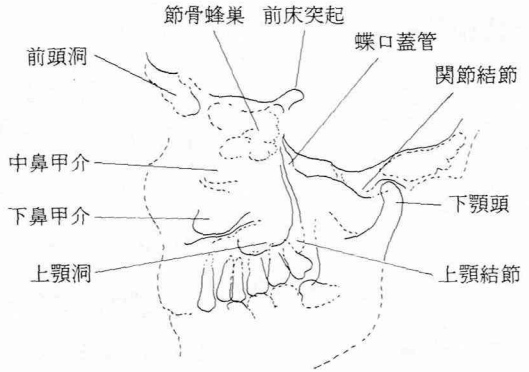


図2(b) : 図2(a)のトレース像

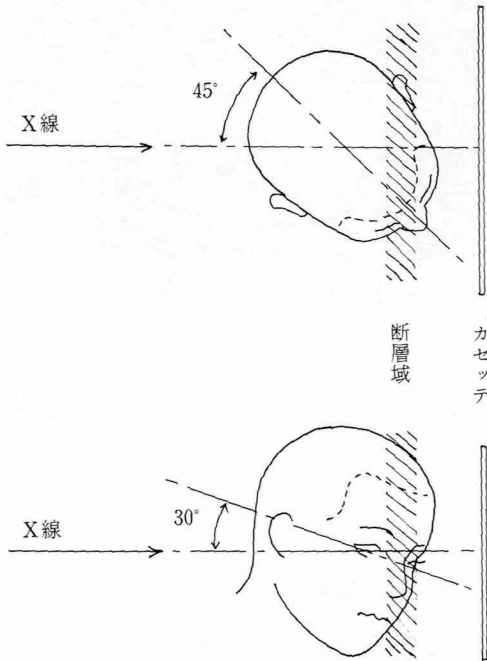


図3 : CTと同じにとったセクトグラフ断層域

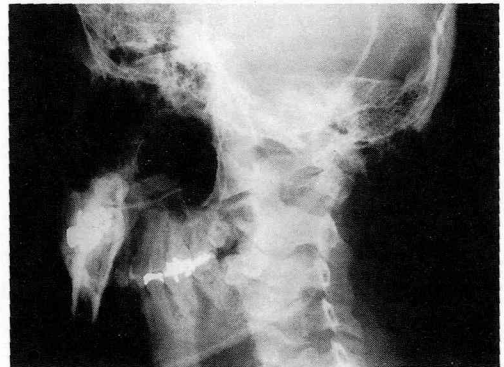


図4 : 同方向の単純X線像

参考文献

Chakeres, D. W. and Kapila, A. (1984) Computed Tomography of the Temporal Bone. Medical Radiology and Photography. 60 [3] : 15-17.

Wegener, O. H : 高橋睦正, 福井康太郎訳 (1985) Whole Body Computed Tomography 日本語版, 第一刷, 95-107. 日本シェーリング, 大阪.

Kieffer, S. A. and Heitzman, E. R. (1979) An Atlas of Cross-sectional Anatomy, 53-73. Harper & Row, New York.

Wackenheim, A., Jeanmart, L. and Baert, A. L. (1980) Craniocerebral Computer Tomography, 115-118. Springer Verlag, Berlin.

平敷淳子, 亀井民雄 (1985) 頭頸部 CT 診断アトラス, 57-94. 朝倉書店, 東京.

Ferner, H. 編 : 小川昇三, 石川浩一訳 (1971) 臨床応用局所解剖図譜, 第三版, 221-225. 医学書院, 東京.

Takahashi S. (1969) An Atlas of Axial Transverse Tomography and its Clinical Application, 40-50. Springer-Verlag, Berlin.